

「口腔体操への取り組みと 利用者への効果」

平成22年6月26日

世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム

発表者 1・2階介護職員 那須 康樹
3・4階介護職員 市川 龍太郎
共同研究者 歯科衛生士 渡辺 三恵子

社団法人東京都世田谷区歯科医師会

共同研究者 歯科医師 笹嶋 正章
歯科医師 桐原 仁子

1. 口腔体操への取り組む経緯

口腔体操が施設にとって明確な位置づけとなっていない。その要因として、利用者への効果が証明されていない現状がある。

口腔体操に取り組む事により、

- 1 余暇活動の充実
- 2 口腔機能維持・向上へのアプローチ

2. 利用者の概況

平成22年4月1日現在

平均要介護度		約4.2		
平均年齢	約86.9歳	男性82.9歳	女性87.6歳	
在籍者数	男性13名	女性85名		
要介護 度別	要介護 1	1名	1%	軽度1%
	要介護 2	7名	7%	中度17%
	要介護 3	10名	10%	
	要介護 4	39名	40%	重度82%
	要介護 5	41名	42%	
経管栄養者	9名（内 胃ろう8名 鼻腔1名）			
医療的対応 者	インシュリン	吸引	尿管カテーテル	人工肛門
	0名	2名	4名	2名

3.目標と目的

口腔体操は食事を摂取する機能の向上、維持に大きな関わりがあるとされている。

目標

『いつまでも美味しく食べられる事、それが
当たり前前の生活である事』

※口腔体操の効果を証明する方法が必要である。

目的

『口腔機能の向上を数値で確認する』

4. 口腔体操の内容

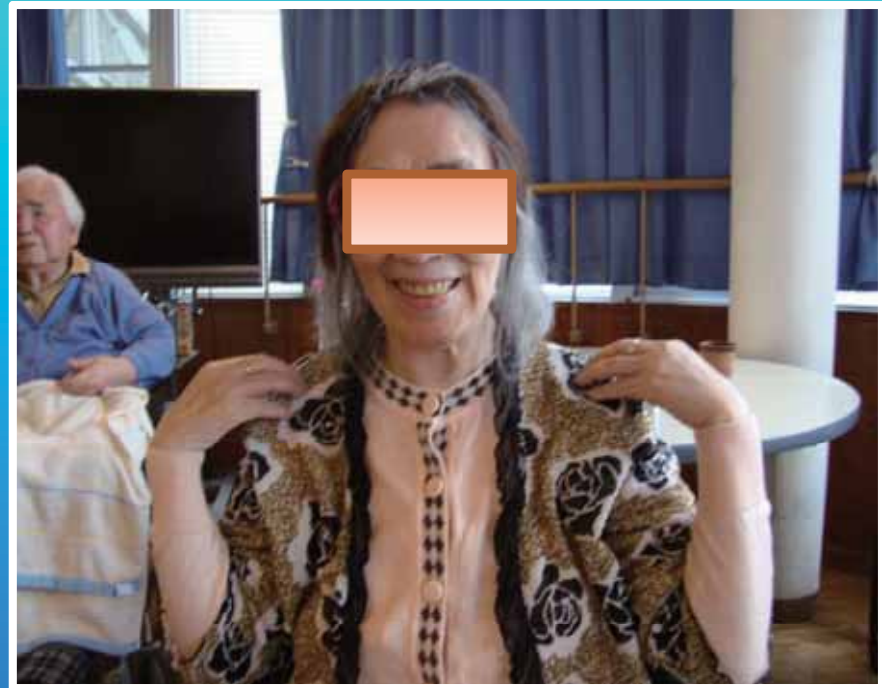
手首の運動

体操内容は、歯科衛生士と介護職員とで話し合い、決定した。



5. 口腔体操の内容

肩の運動



6. 口腔体操の内容

首の運動



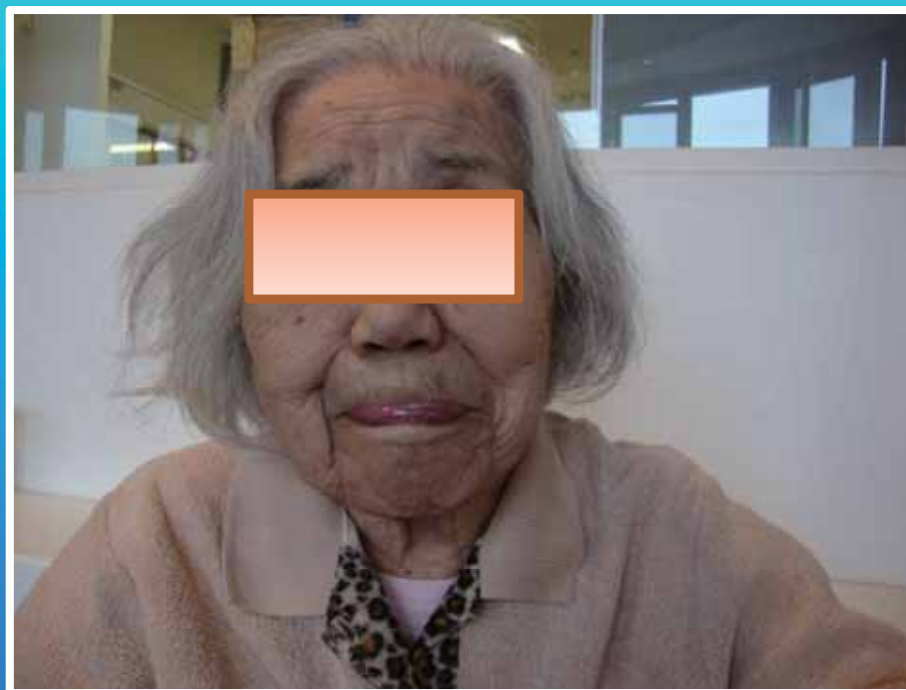
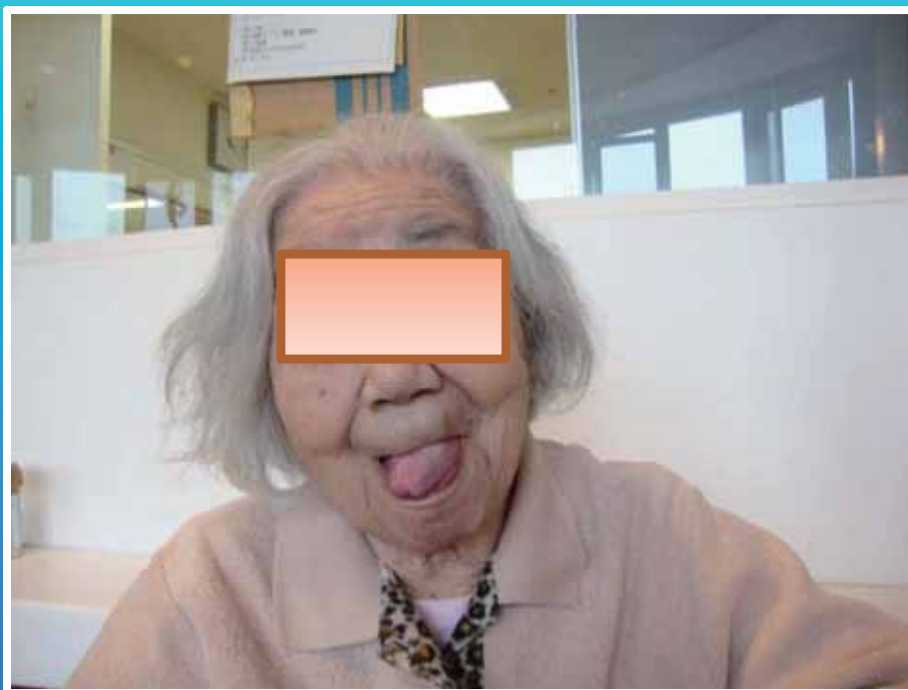
7. 口腔体操の内容

首の運動2



8. 口腔体操の内容

舌体操



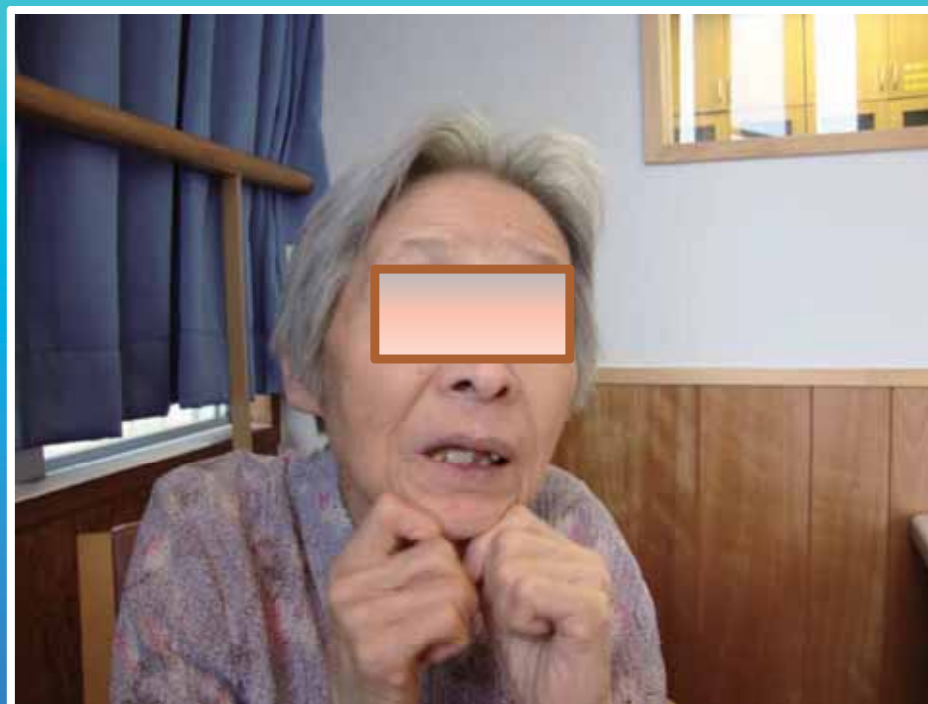
9. 口腔体操の内容

舌体操2



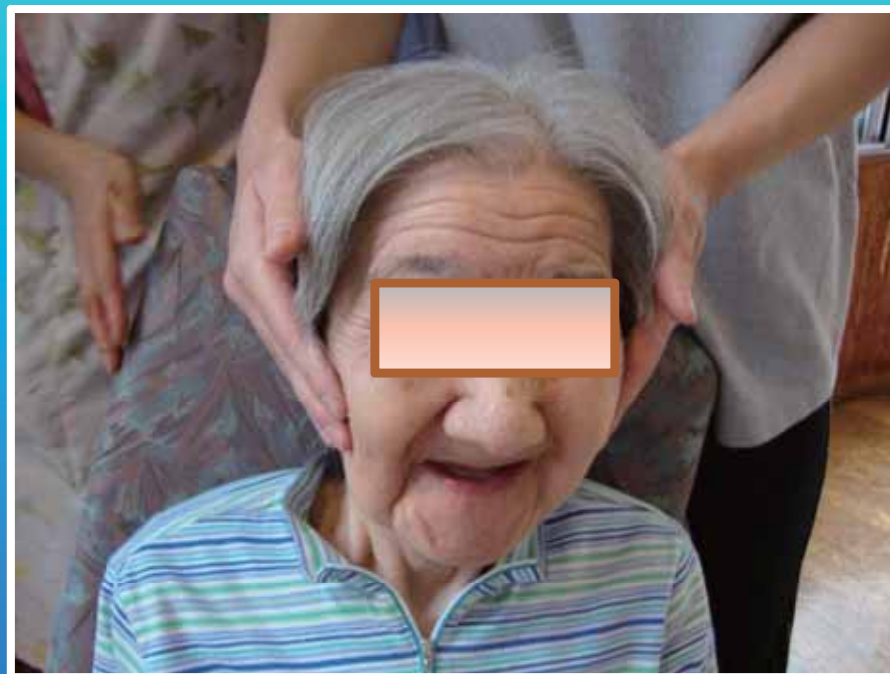
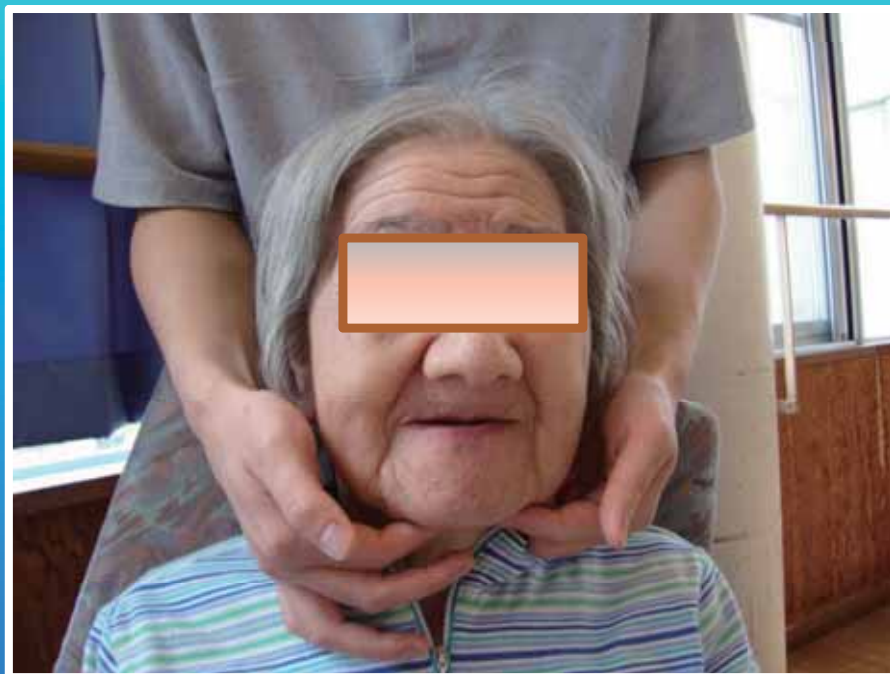
10. 口腔体操の内容

唾液腺マッサージ



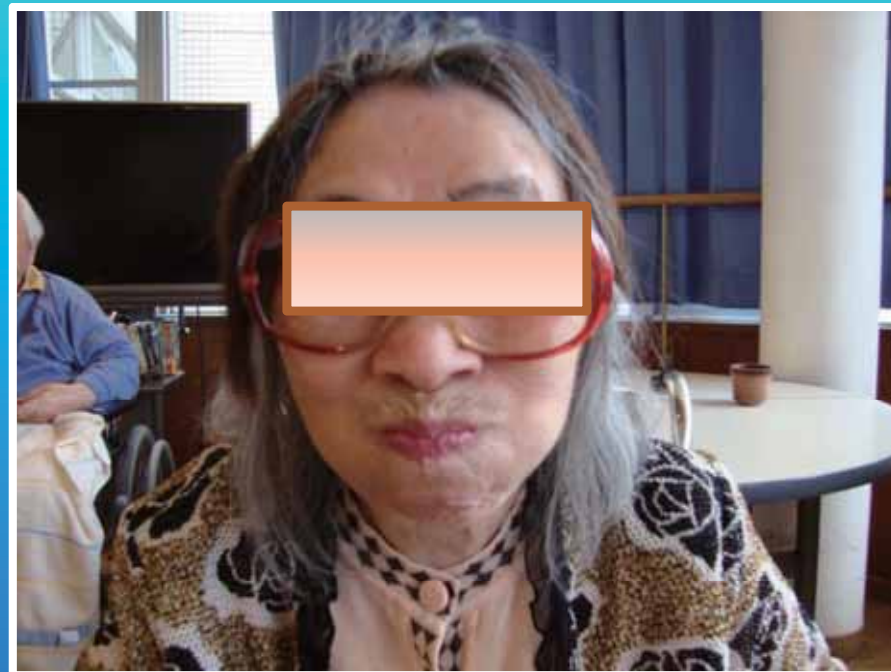
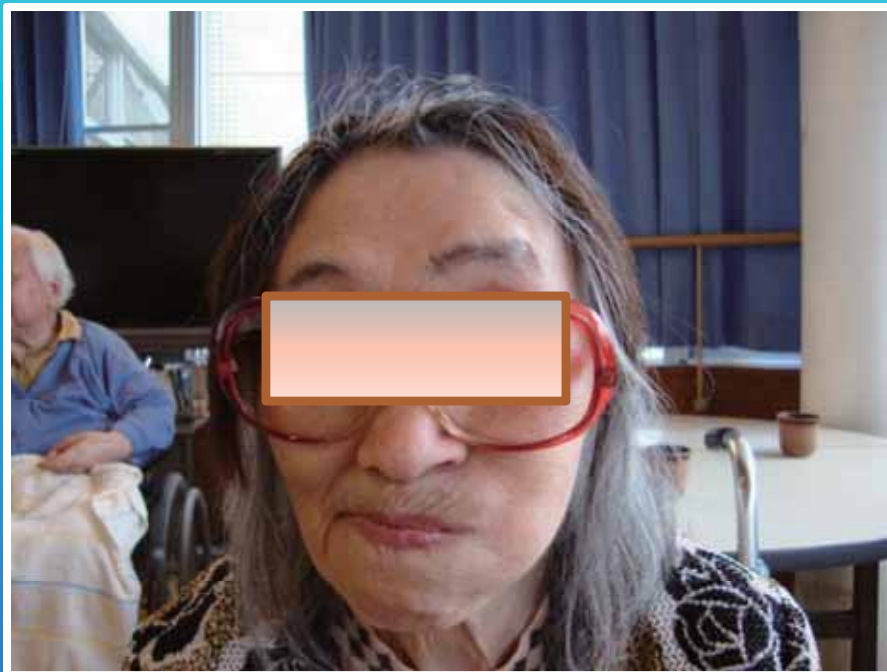
11. 口腔体操の内容

唾液腺マッサージ(介助)



12. 口腔体操の内容

顔面体操



口腔体操の様子



13. 評価方法について (1)

歯科衛生士の評価項目

- ①オーラルディアドコキネシス
- ②反復唾液嚥下テスト
- ③発声の持続時間

介護職員の評価項目

- ①食事時の姿勢 ②食形態で咽やすい物
- ③痰の状態 ④口腔内の状態 ⑤食事のペース
- ⑥首の動き ⑦覚醒状態 ⑧意志表示の有無

評価期間

3か月毎に評価して行く

14. 評価方法について (2)

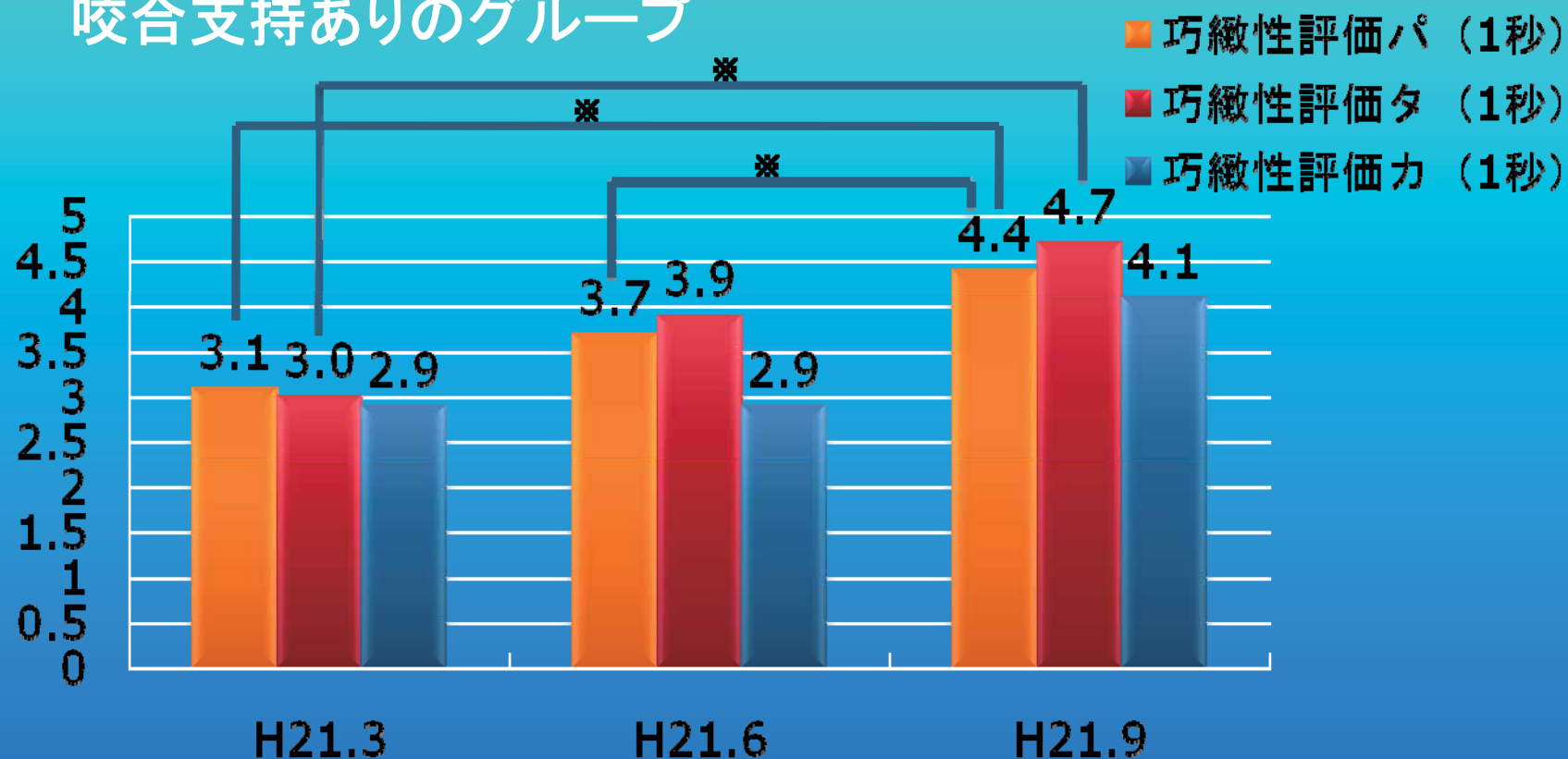
咬合指示の有無でグループを分けて、平成21年3月から9月までの6か月間調査する。

	咬合支持あり	咬合支持なし
人数	8名	8名
平均要介護度	3.8	4.0
平均年齢	90.4	86.4
ADLスコア	62.9	51.4

※ADLスコアは、機能的自立度評価表(FIM)を使用する。

15. オーラルディアドコキネシス 口腔機能の巧緻性（平均値）

咬合支持ありのグループ



※: $p < 0.05$

16. 反復唾液嚥下テスト

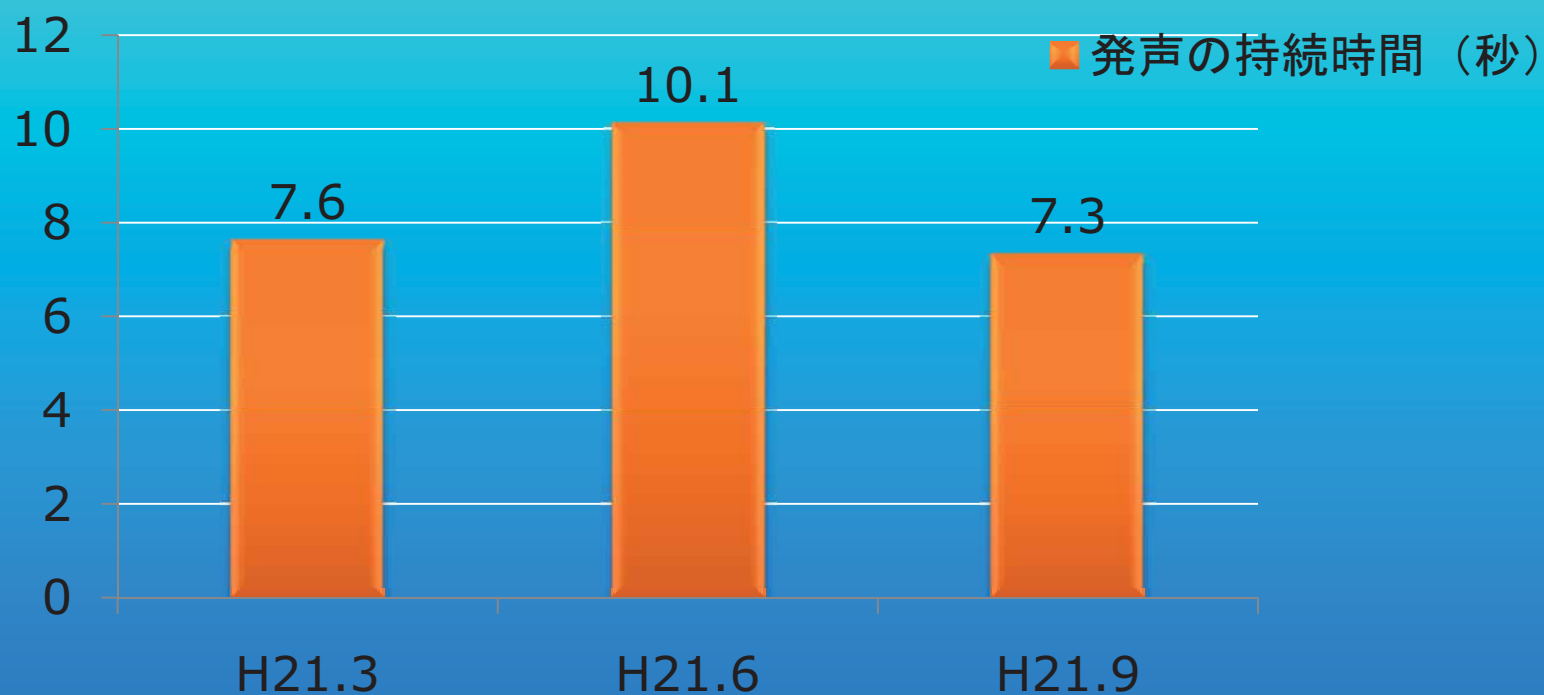
嚥下機能評価表（人数）

咬合支持ありのグループ



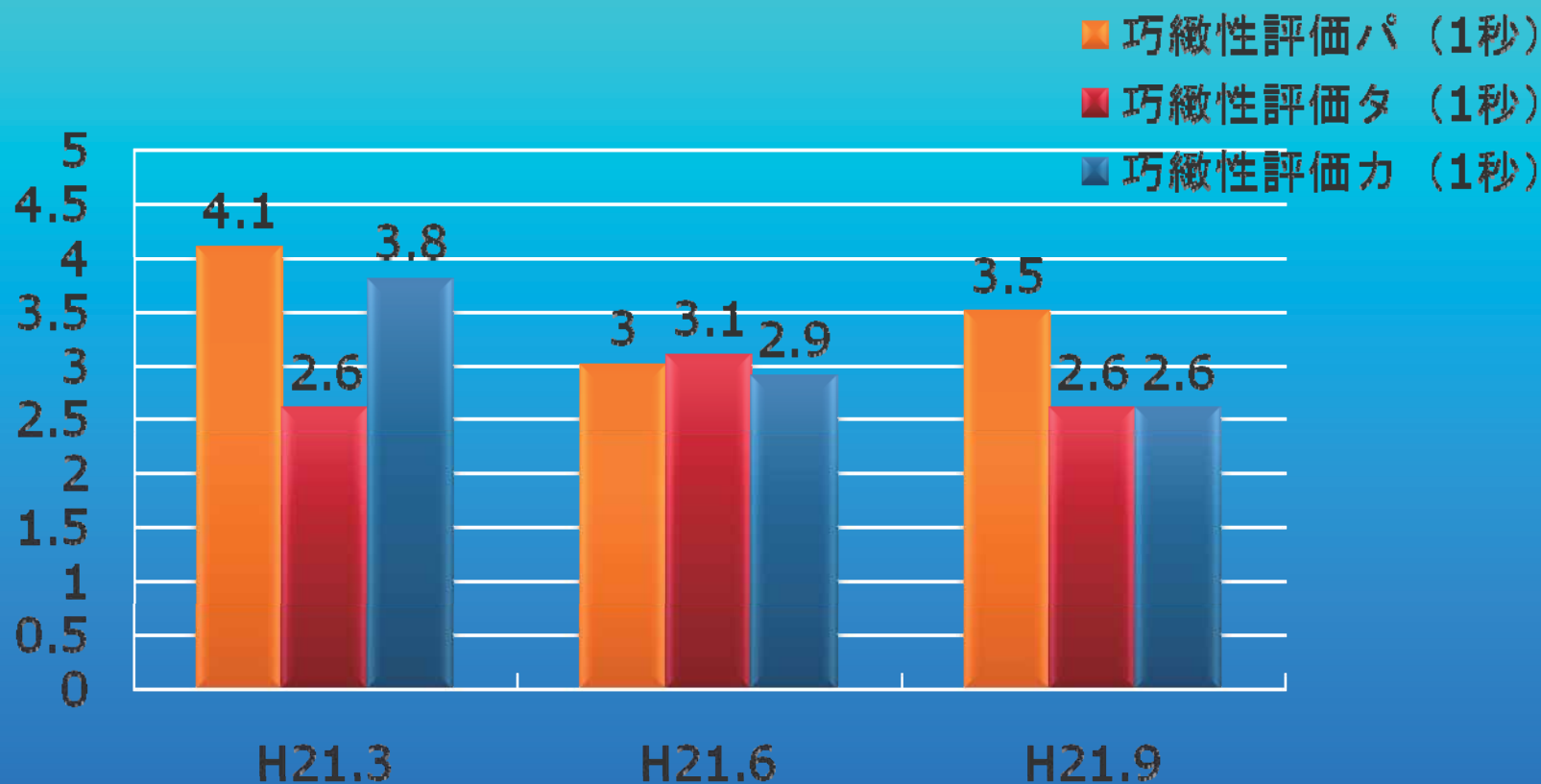
17.発声の持続時間（平均数値）

咬合ありのグループ



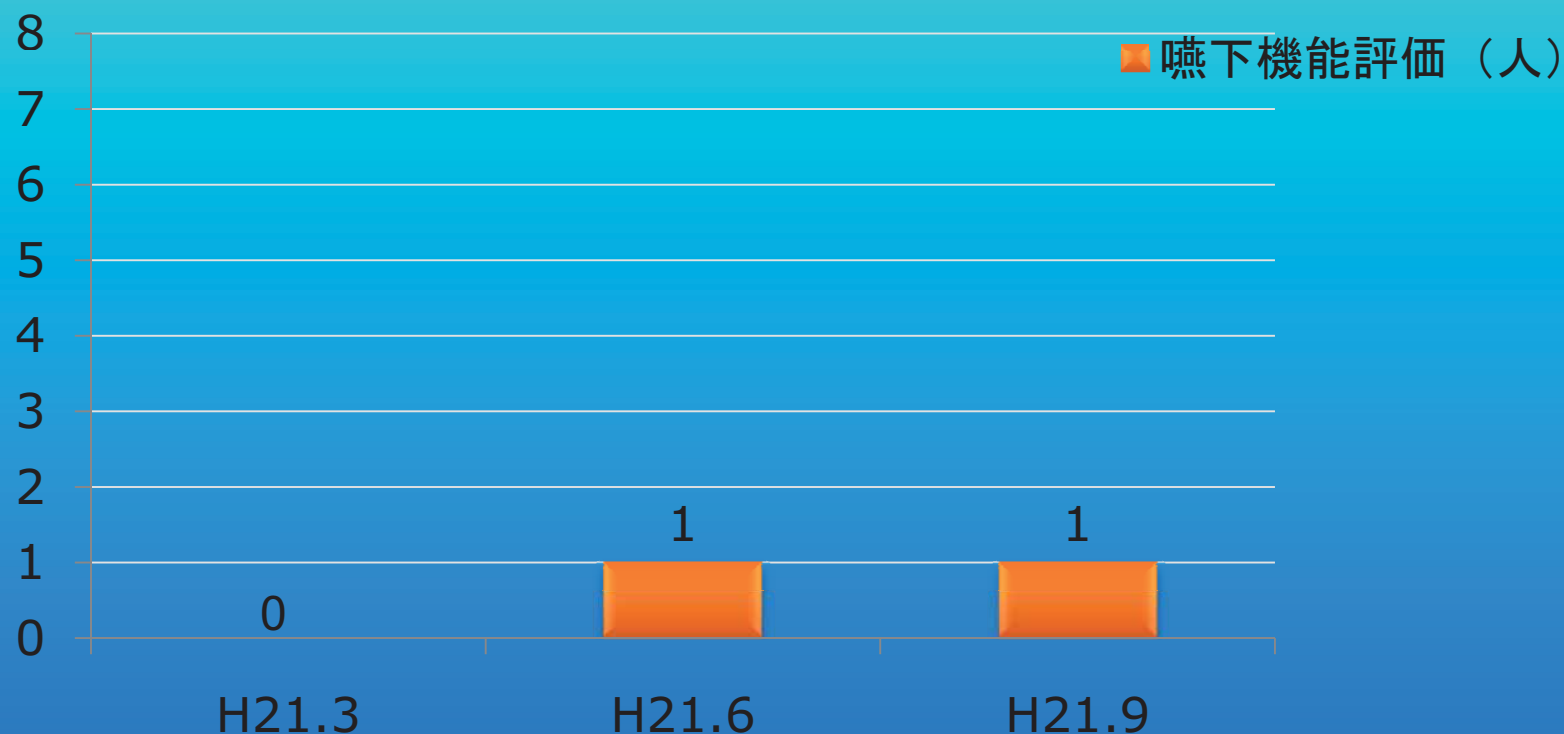
18.オーラルディアドコキネシス 口腔機能の巧緻性評価（平均数値）

咬合支持なしのグループ



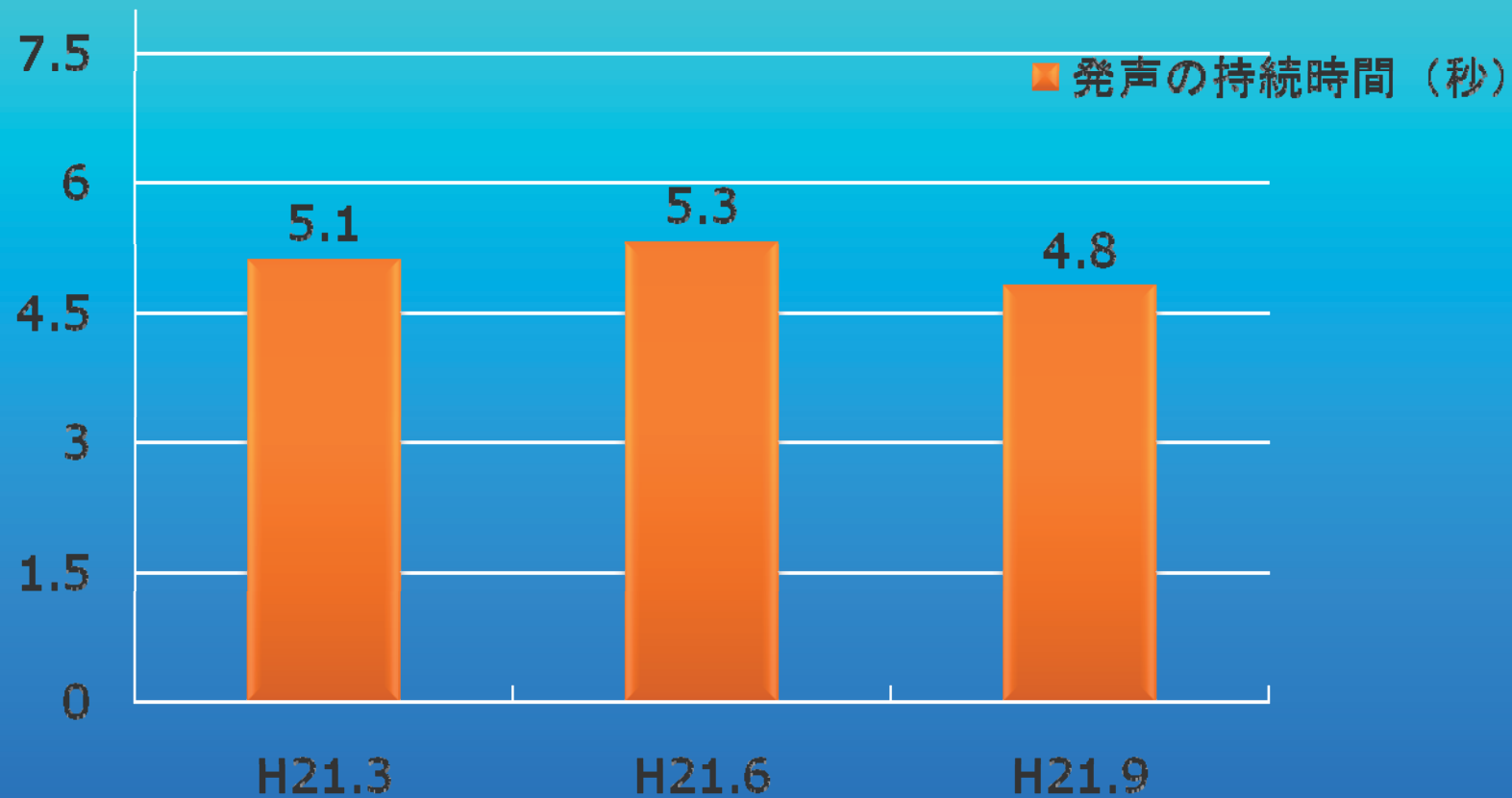
19. 反復唾液嚥下テスト 嚥下機能評価表（人数）

咬合支持なしのグループ



20.発声の持続時間（平均数値）

咬合支持なしのグループ



21. 評価結果

咬合支持あり	咬合支持なし
<ul style="list-style-type: none">・ オーラルディアドコキネシス、反復唾液嚥下テストにおいて改善傾向を示した。・ 発声の持続時間では、大きな変化は認められなかった。	<ul style="list-style-type: none">・ オーラルディアドコキネシス、発声の持続時間では、改善を示す事が出来なかった・ 反復唾液嚥下テストは、改善傾向を示した。

より口腔体操の効果を示す事が証明された。
16名全員が体調不良による入院はなかった。

22.まとめ

- 口腔機能の向上は、痰がらみの減少や、食事形態の変更、生活の中で目標を持つ事が出来た。
- 義歯を装着する事の大切さを学ぶ。
- 口腔体操の効果を今後も継続して証明していく。
- 世田谷区歯科医師会からご指導を受け、他の団体と連携し、地域の方々に口腔機能の大切さを広める。
- いつまでも美味しく召し上がって頂く様、口腔体操のサービスを提供していく。

ご清聴ありがとうございました

世田谷区立特別養護老人ホーム
芦花ホーム

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団